

かわ

Vol.228 2016.1.1



Contents

- 会長年頭のご挨拶…………… P1
- 河川愛護絵画コンクール…………… P2
- わがまちのかわ◎第28回 古賀市…………… P3~4
- 河川事業現地研修会報告…………… P5~6
- 九州地方治水大会/治水事業促進全国大会…………… P7
- 第11回ふくおか川の大掃除…………… P8
- 福岡の身近な川とさかなを知ろう…………… P9~10
- No.33 サワガニのお母さん!
- 水辺の花図鑑/協会からのお知らせ

会長年頭のご挨拶



新年あけまして おめでとうございます。

福岡県河川協会会長

こうはら かつじ
香原 勝司

平成28年の新しい年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、「ラグビーワールドカップ」において、日本代表が対南アフリカ戦で逆転勝利し、「W杯最高の瞬間」に選ばれるなど大活躍しました。これも厳しい練習と十分な準備があつてのことと思います。2019年には、この大会が日本で開催され、福岡もその試合会場の一つに決定しています。日本や福岡の良さが更に世界に認められるようになればと期待しております。

このような中、昨年も日本各地で大きな水害、土砂災害が発生しました。特に、9月の関東・東北豪雨において、記録的な大雨により鬼怒川などの堤防が決壊し、常総市では広範囲にわたり浸水し、家屋が倒壊・流出するなど大きな被害を受けました。今回の豪雨は、平成24年7月の九州北部豪雨と同じ「線状降水帯」により引き起こされたといわれており、近年このような気象変動の影響と思われる非常に激しい雨が増えているのではないかと感じております。

福岡県においても、平成24年の九州北部豪雨による被害に続き、平成26年にも筑紫野市を中心とした局地的大雨による浸水被害が発生しており、現在、県において再度災害の防止に向けた浸水対策に鋭意取り組まれているところです。

また、大規模な自然災害に対しては、「命を守るための行動」が重要であり、日頃から災害に対して備えることに加え、いざ災害が発生したときは適切な避難行動が必要となります。このため、県では県民の皆様に対して避難に役立つ情報の提供、防災意識の啓発もあわせて実施されております。

協会としましても、県と連携しながら災害復旧実務講習会や災害復旧現地研修会の開催、機関誌「かわ」やホームページを活用した情報の提供、小学生を対象とした河川愛護絵画コンクールの実施等を行っております。

引き続き、災害に強い福岡県づくりのために、また次世代の子ども達に豊かな河川環境を残していくために、関係各位のご指導・ご支援を賜りながら尽力して参ります。

本年が、皆様にとりまして最良の年となりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

平成27年度

河川愛護絵画コンクール表彰式

平成27年度河川愛護絵画コンクール入賞者の表彰式が、福岡県の鴨打河川課長、福岡県河川協会の香原会長出席のもと、「遠賀川水辺館」で行われました。

特選の方3名、一等の方5名が出席されました。受賞者には、表彰状と盾が授与されました。

■日 時 平成27年12月6日(日) 12:50～

■場 所 遠賀川水辺館(直方市溝掘1-1-1)

第12回「ふくおか水もり自慢! in遠賀川」開催会場

特選

低学年

みやま市立下庄小学校 2年
瀬口 華鈴さん



中学年

志免町立志免西小学校 3年
木下 凱翔さん



高学年

羽田町立白川小学校 5年
今津 明日花さん



表彰式の様子



入賞者の皆さん

郷土ふるさと 福岡の河川を知る

わがまちの
かわ

第28回

こ が し
古賀市

KOGA CITY



福岡県

古賀市

大根川



古賀海岸



薬王寺水辺公園



大根川

位置と町の概要

つながり にぎわう 快適安全都市 こが

古賀市は、福岡県北部に位置し、市の東側には緑豊かな山々、西側には白砂青松の美しい海岸線を有する海が広がり、市内の至るところを川が流れる自然に恵まれたまちです。

古賀市は、九州最大の都市「福岡市」にもほど近く、JR鹿児島本線、国道3号、九州自動車道古賀インターなど交通や情報のアクセスに恵まれていることも魅力のひとつです。

JR博多駅まで約20分、JR小倉駅まで約50分と、通勤・通学のアクセスに恵まれておりながら、自然の豊かな落ち着いたまちであります。

また、その交通の便の良さから、市内には多くの工業団地を有しており、その1つ、青柳地区にある食品加工団地では様々な食品工場の製品をお得に購入できるイベントなどを実施し、市内外から多くの人々が訪れています。



大根川

薦野地区の西山を源流にもち、古賀地区で玄界灘に注ぎ、古賀市を東西に横断する全長約11kmの二級河川です。二級河川にしては珍しく同一市内に源流(起点)と河口(終点)を持っています。

この大根川には逸話が残っており、その昔、弘法大師が諸国行脚の途中に現在の古賀市筵内地区に立ち寄った際、空腹になったので川で大根を洗っていた老婆に、大根を一本恵んで欲しいと頼みましたが、老婆は弘法大師のみすぼらしい姿を見て、譲りませんでした。弘法大師は見た目だけで相手を判断する態度に激怒し、戒めのために大根川の水を干上がらせました。この逸話から「大根川」という名前がついたと言われております。それから毎年大根を洗う季節になると筵内地区では老婆の戒めのために水が川の表面を流れなくなったという逸話があります。



夷山園

古賀市の紅葉、桜の名所である個人所有の自然公園。毎年、シーズンになると広大な敷地にあふれんばかりの桜、紅葉を楽しむことができます。



まつり古賀

古賀市内の飲食店や小売店をはじめ、古賀市が誇る食品関連企業などが、お得な価格で商品販売する古賀市最大のお祭りで、毎年11月に開催されます。100店を超える出店があり、約4万人の買物客で大盛況です。もちまきや楽器演奏などのステージイベントも充実しており、にぎやかな一日を楽しめます。



食の祭典(5月)

古賀市の企業の総力が結集する「古賀モノづくり博 食の祭典」。毎年5月ごろに開催され、毎年2万人近い来場者で賑わいます。会場では各企業の自慢の逸品をイベントならではの買い得価格で手に入れることができます。

河川事業現地研修会報告

平成27年11月12日(木)～11月13日(金) 場所:大分県日田市、中津市等災害復旧箇所

河川事業現地研修会に参加して

柳川市建設課河川係 技師 ^{まつ だ かず き} 松田 和樹

大分県は多くの人々を魅了する美しい自然がありますが、柳川市と同様に平成24年7月の九州北部豪雨で甚大な被害を受けた地でもあります。私自身入庁して日が浅く、今回の研修では河川事業に関して多くのことを学べると思い参加させて頂きました。

1日目は吾々路川、大山ダム、岳本川の現地視察を行いました。吾々路川は平成24年7月の豪雨により、土石流が川の断面を埋めてしまい土砂、濁流が住宅に流れ出てしまう被害がでました。当時は十分な測量が難しく、施工手段の変更設計等に変な苦労され、人員を適切に配置することで工期の短縮を図ったそうです。筑後川水系である大山ダムではプランクトン増殖を抑制する曝気循環設備、温度変化により生態系を崩さないように、ダムに流入した水を直接ダムから下流に導水するバイパス施設の設置等、自然に配慮した様々な工夫が凝らされており感心しました。岳本川は豪雨による土石流で下流の人家に浸水、土石流に伴う転石により、砂防ダムの一部が損傷してしまう被害がありました。本川上に2基の堰堤があったため被害を軽減することはできたそうですが、上流域の渓床には多量の不安定土砂が堆積しており二次災害が危惧されたため、対策として砂防堰堤工(スリットダム)を実施しているそうです。

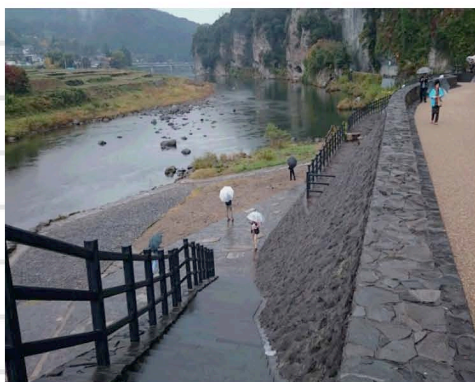


大山ダム



岳本川の砂防堰堤

2日目は山国川について説明をしていただきました。青地区は国指定「名勝耶馬溪」に指定されており、観光地としても名高い景勝地です。そのため景観へ配慮することに重点を置き整備していることが十分に伝わってきました。護岸



山国川青地区護岸(視察地全景)

素材は青地区との調和を考慮した溶結凝灰岩を基本とし、コンクリート部分を覆えるように自然石を活用するなど、護岸を改良しつつ、名勝地の景観を保つよう施工されたことに感心しました。また、護岸工の伸縮目地は目立たないように石積みの内側へ収めている点や圧迫感を軽減するために緑を創出するなど、細かなところまでよく設計されているなどと思いました。

2日目は生憎の雨でしたが、大分県における秋の美山河を間近で感じることができました。今回の現地研修にご協力頂いた方々に感謝を申し上げます。

河川事業現地研修会に参加して

筑前町役場 建設課 はしうち たかや 橋内 崇弥

平成24年7月に発生した九州北部豪雨の復旧事業など大分県県土整備部の協力の下、現地視察を行いました。一日目は吾々路川、大山ダム、岳本川(砂防事業)の視察を行いました。

特に岳本川については砂防ダムの復旧工事中であり、再度の災害防止を図られていました。危険を伴う事業ですが重要な役割を果たしており、今後は施設の設置のみではなく土地の特性に対応できるような施設が求められると感じました。



吾々路川



大山ダム



岳本川

二日目は山国川の視察を行いました。山国川の渓流は名勝耶馬溪と言われるような自然環境に恵まれている場所であるため河川環境との調和を図る必要があります。景観を重視した復旧が行われていました。また、ブロック積には環境に配慮された材料を使用しており、自然色に同化するようにコンクリートに塗料を混ぜ込むなどの工法を取り入れていました。今回の事業者である自治体は地元の方との調整を十分に重ねた上でかなりの苦労をされたと思います。また、ダム施設や河川管理者から貴重な話を聞くことができ、様々な観点から管理や対策について学ぶことができました。そして、災害復旧について、ただ原型復旧するだけではなく今後の維持管理を考えての復旧が最優先事項であることも痛感しました。

今年度は茨城県の鬼怒川の堤防決壊が代表されるとおり、毎年のように異常気象等の自然災害が発生しております。災害復旧に携わっている職員としてより一層の知識と対応力の向上が必要です。また、研修を通して他の市町村職員の方々とも交流し多くの考えを聞くことができ、新鮮な思いで学ぶことができました。研修で学んだことを活かして今後も災害の少ないまちづくりに貢献できるよう頑張ります。

最後に、業務のお忙しい中、視察現場の案内や説明をしていただきました大分県土木事務所、大山ダムの皆様及び研修を企画していただいた福岡県河川協会の皆様に感謝を申し上げます。



山国川(サイクリングターミナル付近)



山国川(青の洞門付近)

九州地方治水大会(鹿児島県)

と き：平成27年11月5日(木) 13:30~

ところ：ホテルウエルビューかごしま

主 催：鹿児島県、全国治水期成同盟会連合会、鹿児島県市町村社会基盤整備推進協議会

記念講演

『宝暦治水と薩摩義士—薩摩武士の本懐』

鹿児島県立図書館 館長 原口 泉 氏

大会

- 1 主催者挨拶
- 2 座長推挙
- 3 来賓祝辞
- 4 講 義
- 5 意見発表
- 6 水災害セミナー
- 7 大会決議
- 8 次期開催県決定・挨拶



- 鹿児島県で九州地方治水大会が開催されました。記念講演の後、国土交通省治水課から「治水事業に関する最近の話題」として鬼怒川の堤防決壊等について講義がありました。
- また、水災害セミナーとして、「線状降水帯」についての説明がありました。
- 要望に関する大会決議があり、次期開催県は佐賀県ということで閉会しました。

治水事業促進全国大会

と き：平成27年11月24日(火) 14:00~

ところ：シェンバツハ・サポー(砂防会館別館)

主 催：全国治水期成同盟会連合会、



- 治水事業促進全国大会が開催され、石井国土交通大臣から来賓挨拶がありました。
- 要望事項の大会決議の後、各都道府県に分かれ国会議員に対する要望活動が行われました。
- 福岡県では、川崎町長、那珂川町長をはじめ関係市町の幹部により要望活動が行われました。

第11回

10月25日(日)に

ふくおか川の大掃除 を実施しました!!

「ふくおか川の大掃除」とは、

ふくおか川の大掃除とは、毎年10月を「クリーンリバー推進期間」と定め、その中でも第4日曜日を統一活動日とし、日ごろから各地域で行われている河川愛護活動を同時期に一斉に行うことで、より多くの方に河川において美化活動が行われていることを「知ってもらう」、重点実施河川(※)を設定し、周辺住民の方にも参加してもらい、河川愛護活動を「体験してもらう」ことで良好な河川環境を形成することを事業のねらいとしています。



※重点実施河川

ふくおか川の大掃除では、県下全体での清掃を呼びかけるほか、重点実施河川を一か所選定し、河川愛護活動に参加したことのない方も含めて河川の美化活動を行います。

【第11回ふくおか川の大掃除】

本年度は、飯塚市を流れる一級河川遠賀川水系建花寺川(けんげいじがわ)を重点実施河川として選定して実施しました。大人から子供まで地域の方々、地元企業、留学生ボランティアの方々など多くの参加があり、少し汗ばむ晴天の中みんなで協力して河川の美化活動に取り組みました。

重点実施河川以外においては、県内全域で168の河川愛護団体・36の河川愛護企業など約12,000名の方々がふくおか川の大掃除に参加し、河川の一斉清掃に取り組みました。

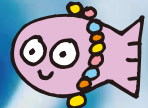


みんなで力を合わせて
遠賀川流域をキレイに
しましょう!!



よみがエルくん

ふくおかの身近な川と さかなを知ろう



No.33 サワガニのお母さん!



サワガニ



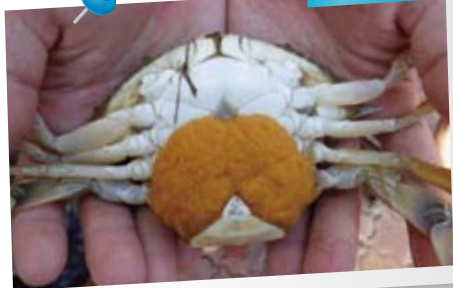
モクスガニ

写真をご覧ください。熊本県上益城郡山都町の重要文化的景観「通潤用水と白糸台地の棚田景観」(Vol. 200で一度紹介済み)で、私の研究室スタッフは、その通潤用水の下井手で行われる水生生物観察会に、年1回参加しております。九州大学の社会連携事業の一環として、山都町教育委員会と様々な活動を行っており、そのひとつが、水生生物観察会です。そして、この写真はそこで採集されたサワガニのお母さんです。何か、気がつきませんか?おなかのあたりをよおーく、見てみましょう!幼いカニたちをたくさん抱っこしているではないですか。なんと愛らしい!サワガニは、子供たちがある程度の大きさに成長するまで、大切に抱きかかえて育てる習性を持っているのです。

さて、次の写真をご覧ください。これは、九州大学の学部3年生を対象に行っているアクアフィールド科学実習中に、福津市西郷川の河口域で採集されたモクスガニのお母さんです。おなかのあたりをよおーく、見てみましょう!このお母さんガニは、たくさんの卵を抱っこしています。その次の写真はイボテガニ。このカニも同じ実習中に、調査艇わかすぎで行われるエビコギ網採集で採れたものです。このお母さんガニもたくさんの卵を抱っこしています。そして、その次の写真は「わたり蟹」という名で有名なガザミです。これも同じ実習中に福間海岸で採集されました。ガザミのお母さんも、たくさんの卵をおなかに抱き抱えています。これらのカニたちも、サワガニと同じように、幼ガニに成長するまで抱っこすると思いきや、、、実は、結構、冷たいお母さんガニたちなんです。おなかに抱えるのは卵までで、そこからゾエア幼生というプランクトンの状態で、孵化させて、弱々しい子供たちを海に放つのです。



イボテガニ



ガザミ

さ て、ここで、問題です。サワガニは幼ガニを抱っこ、そのほかのカニたちは卵を抱っこ。同じカニの仲間なのに、、、不思議に思いませんか？なぜ、サワガニだけが幼ガニを抱っこしているのでしょうか？

この違いは、実は生息している場所に関係しています。サワガニは水の澄んだ川の上流・中流などに生息しています。他のカニと同じように、ゾエア幼生で手放してしまうと、弱々しい子供たちは海まで流されていってしまいます。子供たちが、ゾエア幼生からカニの形になった後、海から川の上流まで上ってくるのはしんどいですね。そして、もしかしたら、海の塩水で子供たちは死んでしまうかもしれません。サワガニは淡水域に進化・適応した数少ないカニであり、お母さんが幼いカニたちを大切に抱きかかえる習性は、川の中だけで一生を過ごすために、長い進化の過程で身に付けた技と言えるでしょう。他のカニたちは？イボテガニもガザミも海のカニです。弱々しいゾエア幼生を海に放っても、そもそも子供たちが将来生活する場所は海なので、移動に関してはなんの問題もありません。

そ して、今度は子供の大きさに注目しながら写真を眺めてみましょう。サワガニの幼ガニの大きさから想像すると、結構、大きな卵を抱えていただろうことを推察することができます。ただ、他のカニたちと比べると、子供の数が少ない気がしませんか？実は、サワガニのお母さんは、子供がある程度大きくなるまで抱っこなので、子供

の数は少なめ！お母さんのおなかのスペースには限りがありますので、大きい卵や幼ガニを抱えると、必然的にその数は少なくなってしまいます。「大きい卵を少しだけ」です。逆に、他のカニたちは、サワガニよりも卵が小さく、数が多い！幼ガニになるまでおなかに子供を抱えませんので、小さい卵で良いし、おなかにスペースがたくさん。だから、たくさんの卵を抱えることができます。「小さい卵をたくさん」です。

さ て、ここで、問題です。サワガニは、大きい卵を少しだけ抱っこ、そのほかのカニたちは小さい卵をたくさん抱っこ。同じカニの仲間なのに、、、不思議に思いませんか？なぜ、サワガニだけが「大きい卵を少しだけ」抱っこしているのでしょうか？

大 きい卵だと、孵化したときの子供のサイズも大きくなります。自然界では「大きい＝強い子供」です。サワガニは強い子供を川に放つことで、種として存続する可能性を高めています。一方、たくさんの卵の場合は、自然界での他の生物との競争での生き残りの確率を上げるためです。「小さい＝弱い」なのですが、イボテガニやガザミはその数を増やし、子供たちがたくさん食べられてしまっても種として生き残ることができるように、「数をたくさん」で確率を上げているのです。このような生物学的な現象は、カニ以外の生き物でも知られています。生態学等の学問分野では、前者を大卵少産型、後者を小卵多産型として、それぞれの生息環境の中でより有利に種を残すための繁殖戦略として理解されています。

大 学の講義で毎年教えているのですが、、、テストに出すと、「大卵少産型」と書いてしまう学生が必ずいます。「大きい卵を小さく産む」って??? 本日は、大学の講義みたいでしたが、皆様方の豆知識がきっと増えたということでご了承を！

おに くら のり お
鬼倉 徳雄
●九州大学大学院農学研究院・助教
●日本水環境学会九州支部・評議委員
●日本魚類会自然保護委員会・希少魚類部会委員

主な著書/
■有明海の生きものたち 干潟・河口域の生物多様性(佐藤正典編)
■干潟の海に生きる魚たち 有明海の豊かさとおぼろげ (日本魚類学会自然保護委員会編)

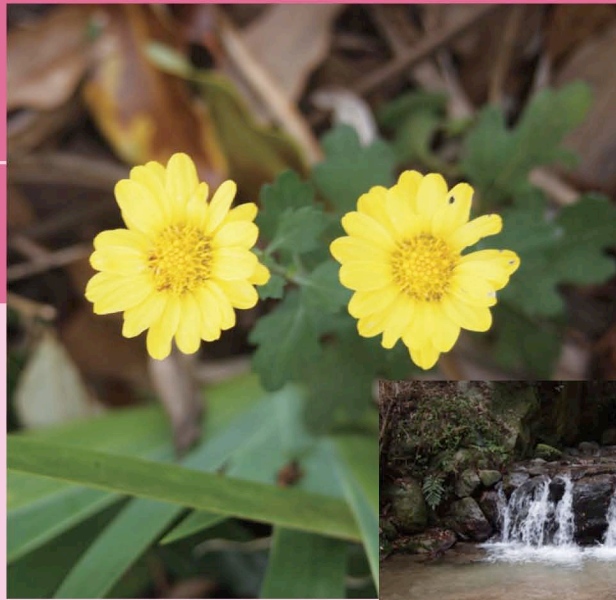
水辺の花図鑑

シマカンギク

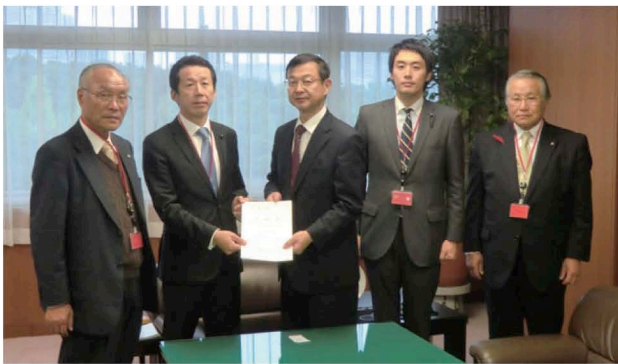
(アブラギク) キク科キク属

- 開花時期: 10~12月
- 撮影地: 朝倉市秋月野鳥川流域
- 撮影者: Kido.N

名前の由来は、九州北部一帯の海岸や島々などに大きな群落が見られたことによる。別名を油菊(アブラギク)ともいう。これは、江戸時代にこの花を油に浸したものを傷薬にしたことに由来する。花径25ミリくらいの黄色い花をつける。花言葉は「あなたを信じます」(みんなの花図鑑より)



福岡県河川協会の要望活動



平成27年10月16日(金)、国土交通省、地元選出国會議員に対し、通常総会の決議に基づく要望活動を行いました。
参加者: 香原会長、吉村理事(県議)、手嶋理事(川崎町長)、佐々木監事(糸田町長)ほか、役員市町・参与等、計19名

(写真) 香原会長から国土交通省の池内技監に要望者が提出されました。

協会からの お知らせ

今年の「河川紀行」は、久山町の「猪野川」です。「ドローン」を活用して動画を撮影しております。

下記の河川協会ホームページからご覧頂けます。「かわ」の折々の季節をお楽しみください。

編集 後記

「高島野十郎展」を見た。久留米出身の「孤高の画家」。没後1枚の絵が展示されて以来、県立美術館では30年近く作品の収集・調査が行われているようだ。今回はこれまで見たことのない作品も多く、美術館の努力に感謝。地元を描いた作品は少ないが「初夏の山辺」は黒木町を流れる矢部川の串毛橋付近の土手から描いたものと今回判明したようだ。(古賀)

◆ STAFF

発行・編集 福岡県河川協会(福岡県県土整備部河川課内)
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
TEL: 092-633-2826(直通)
FAX: 092-643-3669
企画 セントラル印刷株式会社